





# 私がまちづくりスタッフです

その27

東向島一丁目  
宗像 信司さん  
(一言会・理事)



昭和17年、墨田区東向島(現住所)で生れる。生まれ育ちも一寺言問。正真正銘の一言会。宗像さんの家族は、お父さん、お兄さんも大工さん。二人のお子さんも、大学で建築を専攻している。建築家の家系である。

(旧)東京都建築士事務所協会、墨田支部副会長。不燃化促進設計事務所協会全員の、まちづくりに深い関係のある職業で、建物の設計、相談はもとより、古く危険なブロック塀の診断をするなど、町の建物の身近な問題を、お仕事にしている。

担当理事会で、南栄会の会員でもある。宗像さんに「はとほっと」の管理人になっていただいた。

「逃げないですむ町にするには、建物の不燃化、道路作り、客積率のアップを真剣に考えなければいけない。一寺言問のように狭い敷地では効率のよい建物が建てられること、細街路拡張事業というのがあって、家を建てる時、道路として下からなければいけない部分を、区が買い取ってくれる。有利な助成は利用すべきですよ。」とすが、専門分野の話になると指摘が細かい。

町会の青少年部の部長もなさっていて、「談話のタベ」は好評である。中肉中背、服水屋のせい、あまり表にでたがらない。意外や意外、コーラスが上手。墨田混声合唱団に20年も在籍していたことはあまり知られていない。(純)

いちでらことい  
一言会/防災まちづくり瓦版

第29号 平成4年12月1日発行

編集/一言会を防災のまちにする会・編集局  
高原純子・若木菊枝・植竹モト  
阿部洋一・明間 藤・中村淑子

編集協力/マヌ都市建築研究所

発行/一言会を防災のまちにする会・事務局  
墨田区都市整備部開発促進室内  
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)1111



▲「まちづくりフォーラム'92としま」で、活動報告をする高原さん。

## 高田製菓跡地・ただいま検討中

一寺言問地区防災まちづくりの計画で「防災広場」の整備用地となっている高田製菓跡地は、「広く地域の意見を集めながら進めていこう」という方針で検討が進められています。

一言会では、「地域の意見をどのように聞き、どのようにまとめるか」「イメージを沸かせるために見学会を開催してはどうか」などを検討課題に、10月29日の担当理事会、11月2日の理事会と検討

を重ねてきました。大きな課題だけに様々な意見が飛び交い、これまで以上に白熱した議論が展開されています。

近々、地域のみなさんに日頃考えている利用のアイデア、意見を出してもらって、具体的な利用策の検討に入る予定です。「こんな広場が欲しい」「こんな利用ができたなら素敵だな」など、一緒に考えていきましよう。

10月11日、豊島区民センターで「まちづくりフォーラム'92としま」が開催されました。すみだで始まったまちづくりフォーラムも、今年で3年目。今年には150人余りが参加し、13のまちづくり団体を中心として、「まちづくりの輪をどのように広げていくか」というテーマでディスカッションされました。今回のテーマはまちづくりにおける最も重要な難しい課題であるため、どの団体も試行錯誤しているらしく、活発に意見が飛び交い、盛会でした。

一言会からは理事や事務局など10名が参加。瓦版編集局員の高原さんが広場の整備や瓦版の発行について活動報告をしました。

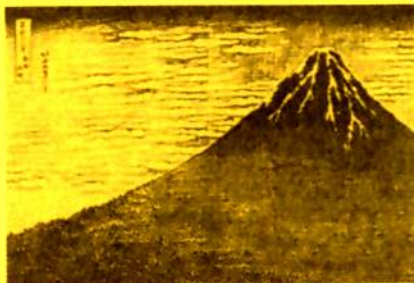
10月30日に開かれた反省会では、次回のフォーラムをどこで開催するか、次回から現地を見学できる機会を設けたい、などの意見が多く出され、参加団体の目は早くも次回のフォーラムに向けられている様子でした。

## 「所沢まちづくりフォーラム」にも参加



11月11日、所沢青年会議所が主催して開かれた「所沢まちづくりフォーラム」に、一言会もパネラーとして招かれました。佐原さんが代表として出席し、一言会の活動を報告しました。一言会の他には、町田市、川越市の「葦の会」が招かれました。

# まちづくりフォーラム'92としま



葛飾北斎の名を世界に轟かせた錦絵「富士三十六景」の一つ「凱風快晴」の通称。夏から秋にかけての早朝、富士は僅かな時間、朝焼けに赤く染まるという。赤富士はその一瞬を捉えたものである。

赤富士とは…

用の一環として「空き缶の塀をつくる」というアイデアがありました。その第一号「赤富士」が11月4日にお目見えしました。第一寺島小学校4年2組の児童が3か月余りをかけて製作したもので、アルミ缶を540個使った、幅27m、高さ1.5mの壁面です。マスコミの評判もよく、翌日の朝刊各紙の紙面を賑わせました。

一言会では、第2、第3のアルミ缶壁面を募集しています。アルミ缶を収集して楽しい壁面を製作し、広場の連絡窓口までご連絡下さい。

なお、この広場では空き缶の回収は行っておりません。アルミ缶のリサイクルは会古路地の方へお願いします。



同校PTAでは、今後とも、各種事業にからめてこのような催しを行い、リサイクル活動を継続的に行う予定です。

なお、優勝は向島五丁目東町会でした。(洋)



# 街角 町会 ニュース



**2 優勝！五東チーム**  
8月6日、言問小地区ソフトボール大会で優勝した向島五丁目東町会チーム。  
(洋)



**4 地藏坂通り商店会法人化**  
11月10日、地藏坂通り商店会が振興組合結成総会を開き、商店街の活性化のために法人化し、12月上旬に地藏坂通り商店街振興組合としてスタートする予定です。  
(純)



**1 桜橋デッキスクウェアその後**  
春に完成して以来、お年寄りから子供まで多くの人々が憩う光景が見られ、地域に潤いを与えています。



**3 5年に1度の牛嶋神社大祭**  
9月11～12日、氏子50ヶ町会をねり歩く黒牛にひかれた鳳輦（ほうれん）巡行。  
(洋)

**5 みんなで頑張った秋の防災訓練**

町会	実施月日	実施場所
堤通一丁目町会	10月25日（日）	桜児童遊園
東向島宮元町会	9月6日（日）	百花園児童遊園
東向島一丁目中町会	11月15日（日）	防災フェスティバルに参加
東向一南町会	11月8日（日）	第一寺島小学校
向島五丁目東町会	10月25日（日）	さくらんぼ公園
向島五丁目西町会	10月25日（日）	隅田公園周辺（桜橋）



今年の8月中旬から9月中旬にかけて、東京では全く雨が降りませんでした。そのため水不足が問題となり、節水が呼びかけられていました。

そんな中、雨水を利用して路地尊も3トタンの5号基（はとほっと）、2号基は相次いで濁水してしまいました。しかし、9トタンの3号基（向島有季園）、10トタンの4号基（会古路地）に蓄えられた豊富な水は涸れることはありませんでした。雨が降らないために元気をなくしている植木や植え込みへの水やり、子供たちの水遊びなどにたいへん役立って、水不足時の貴重な水源としての役割が通り、地域に潤いを与え続けていました。

マスコミもこれに注目し、9月14日の朝、NHKが会古路地から生中継をして、「水不足に対抗する貴重な水源」として路地尊第4号基を紹介していました。

大地震時には断水による水不足が予想されています。その時の貴重な水源として、また今年のような渇水期にも地域に潤いをもたらす貴重な水として、これまで同様に路地尊の水を大切に使用していきましょう。

役に立っています！「路地尊」



普段は地域に潤いをもたらす、災害時には貴重な水源となる路地尊。（写真は2号基）

## 「はとほっと」の使い方

今年の春、鳩の街通りに完成したはとほっとは、商店街のイベント、町会のリサイクル活動、地域住民の憩いの場などに利用されているようですが、一方、設備の破損や使い勝手などの問題も持ち上がっております。そこで一言会では、9月2日に担当理事会を開き、鳩の街商店会と共にはとほっとの管理と使い方について検討しました。

「電球が切れたままになっている」とか、「イベントの日時が重なるかもしれ

ない」、「掲示板にちらしを貼りたいのだが」というような時の連絡窓口を定めておくことになり、鳩の街商店街で設計事務所を営んでいる宗像さん（私がまちづくりスタッフですその27参照）にお願いくことにになりました。設備の破損や利用上の問題などがありませんと、宗像さんにご連絡下さい。なお、破損については、当人に修理をお願いする場合があります。



「はとほっと」全景



# 募集！有季園利用者

～あなたも有季園で、  
緑づくりをしてみませんか？～

向島有季園の第5期利用者を募集します。利用期間は3月1日から翌年の1月31日まで。路地尊の水を使った豊かな緑づくり、みんなが見て楽しめるような緑づくりを約一年間責任を持って行える方を求めます。利用者は一言会と利用協定を結び、有季園の管理運営に携わって頂きます。利用者会議(年2回程度)に出席すること、近隣に迷惑をかけないこと、利用者本人が責任を持って行うことを約束して頂きますのでご了承下さい。

利用対象は一寺宮間地区住民に限ります。希望者は官製はがきに右下の応募券を貼り、住所、氏名、電話番号を記入の上、一言会事務局に申し込んで下さい。1月31日消印有効。2月に公開抽選会を開いて選びます。抽選日は応募者に改めて通知します。

**お知らせ** 平成6年(第6期)の利用者募集より、何度も応募しながら抽選にも来てきた方が優先的に利用できるよう検討していきますので、ご期待下さい。

申し込み先は

〒130 墨田区吾妻橋1-23-20  
墨田区都市整備部開発促進室内  
一言会事務局「向島有季園」係

TEL(5608)1111 (内線3913)

応募券  
切り取り  
貼るだけ



11時過ぎから、有季園利用者の方が、三々五々集まり、役割分担どおり、炭をべたり、鉄板を拭いたり、椅子を並べたり、準備万端ととのったところで、小倉理事から「今年も有季園で、秋の収穫があったことを、利用者の方々と、共にお祝いしましょう。」という挨拶があり、パーティーが始まりました。  
一言会の会長・副会長から寄附があり、徳永理事が、くじと景品を作り、皆で楽しみました。

お野菜とお肉の焼けた、いいにおいがします。頂戴した日本酒を一杯ひっかけ、男の方たちも気分よさそう。子供たちはお肉が大好きで、道路にもおふれ、賑やかで、おいしく楽しい収穫祭になりました。  
一度試してみようと発案のあった、路地尊の水も、お茶にして飲んでみました。保健所の水質検査にも合格、非常時には、沸かして飲み水に利用できそうです。  
高田理事の音頭で、三本締めで収穫祭は無事終了しました。(純)

## 向島有季園 第2回 収穫祭 バーベキュー・焼そば

11月1日、向島有季園で第2回目の収穫祭が行われました。昨年は収穫したさつまいもの、焼いもパーティーでした。その時、「来年は野菜をつくって、バーベキューをやろうよ。」という声が上がりました。それが実現して、お野菜とお肉たっぷり、ユーム満点の収穫祭になりました。

くじ引きに集まる子供たち。期待に胸をふくらませ、当たりくじを目指します。さて、景品は何だろう？



イエーイとばかりに、道路にまでおふれ出してはしゃぐ子供たち。



今年のメニューはバーベキューと焼そば。

利用者の皆さんが準備、調理をしてくれました。ご苦労さまでした。

ホリユーム満点、味も満点、うーん満足言うことなし！

